

さくらんぼ結実確保のため

マメコバチの管理・増殖を！！

結実確保のために、冬期間にしっかりマメコバチの管理を行い増殖に努めましょう。

■ヨシ巢の確認をしよう

○園地からヨシ巢を回収（4年以上前に設置したヨシ → 焼却処分）

○ヨシ巢を観察してみると

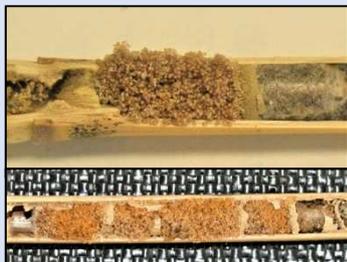
完成巢：入口に蓋があるもの

未完成巢：入口に蓋がないもの



巢は天敵に侵されている場合あり！→天敵を減らす繭洗浄を実施

- ・完成巢：天敵は「コナダニ類」が多い（カツオブシムシはほとんど入らない）
- ・未完成巢：天敵は「コナダニ類」に加えて「カツオブシムシ」も多い



コナダニ類



カツオブシムシ

巢をそのままにしておく

- ・殺された繭の後に入っているハチは、ヨシから出てこられずに死亡
- ・年々天敵が増加

■繭洗浄をやってみよう ※3月中旬頃までに洗浄しよう

○まずは、「未完成巢」を切開して繭を取り出し洗浄

○未完成巢でコナダニ類の被害が多い場合や労力がある場合は、「完成巢」も繭を取り出して洗浄

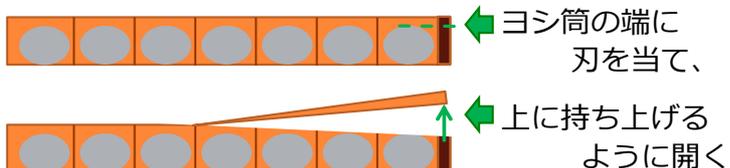
使用道具：接ぎ木ナイフ、ボウル、ザル(2mm目程度、ステンレス製)、
網しゃくし、刷毛、新聞紙、冷水(水場)、紙箱(繭保管用)

作業場所：寒い所（暖かい場所で作業するとハチが休眠から覚めてしまう）

○洗浄方法

①巣を接ぎ木ナイフで切開→繭を取り出す

(※) 切開後のヨシと天敵の被害巣は焼却処分



②繭をボウルに移し、冷水を入れてかき混ぜる

(※) 繭は水に浮き、土は沈む



③繭を網しゃくしですくい取り、ザルに入れる
ボウルに残った水と土は捨てる

④ザルに入れた繭が隠れる程度冷水を入れ、繭を網にこすりつけるように優しく刷毛で洗う



③と④を
3回
繰り返す



(※) 網しゃくしとザルは、天敵がうつらないように洗浄・交換しながら使用しましょう

⑤新聞紙に洗浄繭を広げ、冷暗所で乾燥

(乾燥中のネズミ食害に注意)

乾いたら紙箱に入れ、冷蔵庫で保管



■洗淨繭の設置と新しいヨシの準備

○洗淨繭の設置（春）

- ・保管用紙箱の側面にハチの脱出穴を開ける



保管用箱の側面に鉛筆の太さ程度（約7mm）の穴を複数開ける

- ・発芽 10 日後頃、巣箱内に設置（花芽が割れる直前頃）



○冬の間新しいヨシ（補充用）を準備

- ・洗淨の有無にかかわらず、毎年ヨシを補充する
- ・補充する量は、完成巣の本数の3～5倍程度
- ・内径8mm以上の太いヨシはダメ（マメコバチは入らない・他のハチが営巣）